

移動投票場の設置

質問Ⅱ巡回型投票カーの導入はできないか
答弁Ⅱ選挙管理委員会に積極的な議論を期待する



筒井 一水 議員

合併時には、投票所の数は本川地区5か所・吾北地区22か所・伊野地区22か所があったが、平成19年に吾北地区の投票所の削減があり11か所に統合、28年に妙見共同作業所が復活し現在吾北地区は12か所の投票所で投票を行っている。

中山間地区の高齢者の方は、投票に行きたくても投票所が遠いため、行けないのが現状である。巡回型投票カーの導入も含めて今の現状を町長はどのように考えているのか。

池田町長

高齢者の方の移動手段は

大変厳しいものがあると実感している。

中山間にお住まいのお年寄りの方は、投票所に近所の方などの車に乗り合わせで行かれたり、期日前では、病院の帰りに期日前投票所に行ったケースが多くなっている。

中山間地域においては、投票所への移動が困難な状況も多くみられることから、車を使用した巡回型の投票所を導入することも、投票率の向上や有権者の利便性向上に向けた方策の一つと考えている。

期日前投票所までの送迎バスの運行や、ワゴン車での巡回型投票カーの導入ができないか選挙管理委員会に積極的な議論を期待する。

筒井議員

吾北・本川地区に限らず伊野地区の高齢者の方にとっても、期日前投票所の設置されている場所に行く

ための移動手段がなく大変苦労している。

町長の言われる期日前投票所までの送迎バスの運行には、多額の費用がかかると思われる。

ワゴン車での巡回型の投票カーの方が安く導入できると考えられる。

町として、巡回型の投票カーの導入を選挙管理委員会に進める考えはないか。

池田町長

送迎バスに対してどれぐらいの費用があるのか、巡回型の投票カーの導入にすればどれぐらいの費用がかかるのか、また、ワゴン車の必要台数も含めて調査していく。

町としても選挙での与えられた権利の行使を移動手段がないので行けないといったことはあってはならないと思っているところで行政としてできる限りの投票に関する支援をさせていただきます。



巡回型投票カー(イメージ)